

＝イベントのご報告＝

手話教室や科学遊びなど、「楽しみながら学ぶ」ことをテーマに活動してきたかやぶん子どもクラブでは、お正月にむけての飾り作りなどを行いました。また、縄文体験イベント、勾玉アクセサリー作りでは大人も熱中。12月には獅子舞教室が終了しました。これからは春の奉納に向けて子ども神楽教室を開き、練習を重ねていきます。

12月14日(水) お楽しみ会でケーキ作り!



子どもクラブのお楽しみ会。自分で飾り付けたケーキをいただきました。隠し芸や、手話の歌の発表もあり、楽しいひとときを過ごしました。

12月18日(日) 縄文アクセサリー作り



勾玉の形のネックレスと、自分で縄文の模様を描いたキーホルダーを作りました。何個も作って、家族にお土産にした子もいたようです。

12月21日(水) お正月しめ飾り作り



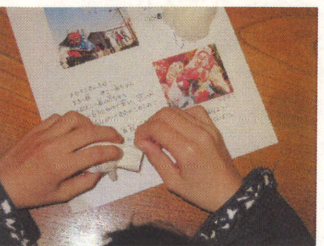
お正月の飾りを、わらを編んで作りました。手も足も総動員して、苦労しながら作った子ども達。良いお正月が迎えられたでしょうか。

12月22日(木) 獅子舞教室終了



半年かけて練習を重ねてきた獅子舞教室の最終回でした。近本先生をはじめとする笛の先生方にご挨拶。道祖神祭りでは見事に演奏しました。

1月13日(金) 道祖神祭りの飾り、さるぼこ



道祖神祭りで飾られるさるぼこさんには、どんな意味があるのかな? 名前の由来を勉強し、さるぼこを実際に自分たちで作ってみました。

＝イベントのお知らせ＝

ちやきちやき子どもクラブ(かやぶん子どもクラブ)

対象: 北杜市内の小学生  
参加費: 1回500円

- 2月の予定(時間は午後5時～7時です)
- 3日(金) おかぐらチャレンジ教室
  - 7日(火) 考古学者になろう!～遺跡のお仕事体験～
  - 22日(水) 茶道で遊ぼう 抹茶を自分でたててみよう!
  - 24日(金) 昔の遊びシリーズ お手玉を作ろう!

※ボランティアさん募集  
青少年の育成に熱意のある方を募集しています。

＝会員募集＝

～茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に、  
あなたの力をかしてください～

こんなことをやってみたい!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活動に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円  
年会費 5,000円

＝ご寄付＝

資料館口直の会員様からそれぞれご寄付をいただきました。ありがとうございました。

合計6,000円(12月16日～1月15日分)

＝編集後記＝

おやなぎさんの色とりどりの飾りが青空に映え、その凛とした美しさに、通りすぎる人々がしばし足を止めていました。今年は地域の人たちの力で、再び復活させた地区も新たに加わり、小正月のにぎわいにまた一つ華を添えていました。取材で色々な地区に突然おじゃましましたが、皆さん快くご協力して頂きありがとうございました。本年も茅ヶ岳歴史文化研究所をよろしく願います。

かやぶんかわら版 第10号  
平成18年1月15日発行  
特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所  
〒407-0204 北杜市明野町上手8310  
明野歴史民俗資料館内  
TEL/FAX: 0551-25-2019  
e-mail: info@kaya-net.jp  
ホームページ: http://kaya-net.jp

会報の定期送付をご希望の方はお申し出下さい。送料は年間1,000円です。(会員は無料)

新年特大号 明野の小正月行事特集

1月8日から15日にかけて、明野町のあちこちの地区で小正月の行事が行われました。地域の人呼びかけにより、絶えていた行事が新たに復活した地区もあります。茅ヶ岳歴史文化研究所は各地の行事を取材し、それらの様子を記録におさめました。

- 浅尾新田おやなぎ 1月13日
- 上神取(下)おやなぎ 1月15日
- 上神取(上)おやなぎ 1月15日
- 上神取(上)獅子舞 1月15日
- 中込どん焼き 1月14日
- 正楽寺おやなぎ 1月15日
- 厚芝獅子 1月9日
- 厚芝おやなぎ 1月8日
- 三之蔵獅子 1月15日
- 小笠原おやなぎ 1月8日
- 小笠原獅子 1月15日
- 谷井獅子 1月15日
- 一本松おやなぎ 1月8日

## 特集1：一本松の道祖神祭り

明野町上手地区一本松では、平成4年度までおやなぎさんが作られていましたが、参加人数の減少により途絶えてしまっていました。その一本松のおやなぎさんが、14年ぶりに現公民館長、上野芳次さん等の呼びかけにより復活しました。新住民が年々増え、昔のおやなぎを知る人も少なくなりました。おやなぎ作りの復活によって伝統行事の継承と、住民同士の交流を深めるきっかけになればという思いがあったそうです。

1月8日、晴天の下朝8時半から作業は開始されました。おやなぎさんをまだ見たことのない参加者もいる中、昔のおやなぎを知る伊東豊次さんの指導のもと、手際よく作成を進めていきました。一本松は明野町の中でも特に戸数の多い集落。戸数分の枝を作る竹割りの作業では、なんと95本もの枝を作りました。県道沿いの広い空き地に運ばれて立てられたおやなぎさんは、その豪華な枝振りを風になびかせ、通りがかった人の目を楽しませていました。一本松では今年の実績をもとに、地区の人たちの声を聞きながら、来年度以降のおやなぎさん作りを検討していくとのこと。



## 一本松おやなぎさん 14年ぶりに復活



舞：遠藤建勝さん・上村和雄さん

太鼓：福島武翁さん



## 上神取の獅子舞

## 美しいお囃子披露



## 特集2：上神取の道祖神祭り

上神取地区では1月15日に道祖神祭りがとりおこなわれました。今年の道祖神祭りで奉納された獅子舞では、坂本重博さん、所和男さんらが、昨年埋文センターにて練習してきた篠笛の音を披露。昨年度の舞の復活に加え、上神取の獅子舞の完成に向けて、また大きな一歩となりました。

そろいの法被に身を包んだ獅子舞のメンバー達は、太鼓を鳴らしながら各家をまわり、道祖神のお札を配りました。お祝い事のある家では座敷で悪魔払いの舞、オンベを舞い、一年間の幸を祈ります。子ども達のいる家ではそれぞれの頭を噛む動作をして、病気をしないで過ごせるようおまじないをしました。

同地区では同じ日におやなぎさんも作成。地域の人たちがとり囲み見物する中、完成したおやなぎさんと道祖神の前で「マクンベ」「オンベ」の2種類の舞を舞い奉納しました。獅子舞復活の中心となって、練習や参加者募集に働きかけてきた村田博さんは、来年度に向けてさらなる曲の習得に意欲を見せていました。来年度の上神取の獅子舞は、さらなる発展が期待できそうです。

## おやなぎさんができるまで

小正月、各地域を美しく彩るおやなぎさん。どんな風に作られているのでしょうか。



地区によって様々な特色のあるおやなぎさん。どの地区でもそれぞれ、我が地区のものこそが一番、という自負があるようです。飾りを切るところから立てる作業まで、地域の人が一丸となって作るおやなぎさんには、小正月の行事の中でも特に格別な思いが込められているのかも知れません。

輪にされたおやなぎさんの枝